

# 製品安全 (MSDS) データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : Saxin ニューライト プレート NL-W  
会社名 : 作新工業株式会社  
住所 : 〒520-2277 滋賀県大津市関津 4-2-1  
担当部門 : 管理部 環境安全・品質管理課  
連絡先 : TEL 077-546-1301 FAX 077-546-2858  
E-mail [hinkan@saxin.com](mailto:hinkan@saxin.com)  
整理番号 : QD 環-05-1-01

## 2. 危険有毒性の要約

GHS 分類 : 分類基準に該当しない  
最重要危険有害性及び影響  
有害性 : 通常の状態では人の健康に対する有害な影響は小さい。  
可燃性であり、着火源があれば燃える。  
環境への影響 : 一般環境において長時間分解しないため、環境に影響する可能性がある。  
特定の危険有害性 : 燃焼など高温で有毒ガスが発生する可能性があり、眼、呼吸器に刺激性がある。

## 3. 組成成分情報

単一製品・混合物区別 : 単一製品  
化学名又は一般名 : 超高分子量ポリエチレン  
化学特性 (化学式等) :  $-(CH_2 CH_2)_n-$   
CAS No. : 登録なし (ポリエチレン : 9002-88-4)  
含有量 : ポリエチレン 99.9%以上  
国連分類 : 危険物に該当しない  
化審法 : (6)-1  
安衛法 : 既存  
毒物及び劇物取締法 : 非該当

## 4. 応急措置

吸入した場合 : 燃焼時製品より発生するガスをひどく吸い込んだときは、新鮮な空気のある場所に移る。

- 症状変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 水と石鹼で付着した部分をよく洗い、不快感が残る場合は医師の診断を受ける。  
溶融物が付着した場合は、衣服の上から大量の水をかけ十分冷却する。溶融物が付着したポリマーや衣類は無理に剥がさない。すみやかに医師の手当てを受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で洗い、不快感が残る場合は医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : できるだけ吐き出し、異常のある場合は医師の診断を受ける。
- 

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 霧状水、粉末、二酸化炭素、泡等を使用
- 火災時特有の危険有害性 : 燃焼等により有毒ガスが発生する恐れがある。
- 特有の消火方法 : 風上から上記の消火剤で消火する。  
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。  
周囲の設備等に散水し冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は状況に応じて必ず保護具を着用する。
- 

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 人体に対する危険有害性は小さいと考えられる。
- 環境に対する注意事項 : 一般環境において長時間分解しない為、漏出時には回収すること。
- 回収方法 : 飛散した加工屑等はホウキ、掃除機等で回収し廃棄処分する。  
溶融した状態で漏出した時は水等で冷却し、固化した後処理を行う。
- 

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 本製品は大変滑り易いので、滑り止めを講じた手袋にて取り扱うこと。  
又、重量のある製品については腰痛対策を講じること。  
取扱い場所は整理整頓に努め、静電気による埃等の付着防止の為の措置をとることが望ましい。
- 注意事項 : 加工作業は揮発分、臭気及び粉塵が発生する可能性があるため、必要に応じ局所排気装置等を使用する。
- 保管
- 技術的な対策 : 本製品は大変滑り易い特性を持っている為、保管の際、荷崩れ等に注意が必要。
- 保管条件 : 直射日光を避け、高温・高湿、火気、熱源より遠ざけて保管すること。  
屋内保管を原則とする。異物、水の混入及び直射日光を避ける為、カバーシート等をかけて保管する。
-

## 8. 暴露防止及び保管措置

設備対策	:	取扱い場所近くに洗身の為の設備を設けることが望ましい。
許容濃度	:	未設定
保護具	:	安全帽・保護眼鏡・保護手袋・保護衣等使用状況にあった保護具を使用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観		
物理的状態	:	固体
形状	:	板状
色	:	乳白色
臭い	:	ポリオレフィン臭
融点	:	136°C
引火点	:	200°C以上
爆発範囲	:	知見なし
密度	:	≒0.935
発火点	:	知見なし
分解温度	:	知見なし
燃焼性	:	知見なし

## 10. 安全性及び反応性

安定性	:	通常の実取扱いにおいて安定
反応性	:	知見なし
避けるべき条件	:	光（直射日光・紫外線等）を避け、高温・高湿、火気、熱源より遠ざけること。
混触危険物質	:	知見なし
危険有害な分解生成物	:	知見なし

## 11. 有害性情報

急性毒性	:	高分子量化合物で生理的に不活性であり、人体への特別な急性作用はない。
刺激性	:	皮膚刺激性(物理的な刺激)、眼刺激性(物理的な刺激)
発癌性	:	IARC(国際癌研究機構)ではポリエチレンをグループ3(人に対する発癌性については分類できない)に分類している。

## 12. 環境影響情報

残留性・分解性	:	一般環境において長時間分解しない。
生態蓄積性	:	現在のところ有害な情報なし。

環境影響 : 一般環境下に廃棄する事は、環境汚染を招く等、生態系に影響を及ぼす可能性がある。

---

### 13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。

---

### 14. 輸送上の注意

国連分類 : 国連定義の危険物に該当しない。

輸送上の特定の安全対策及び条件 :

転倒、落下、損傷のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行うこと。

本製品は摺動特性に優れた特性を持ち、大変滑り易いので注意が必要。

異物、水の混入及び直射日光を避ける為、カバーシート等をかけて輸送する。

---

### 15. 適用法規

消防法指定可燃物 合成樹脂類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(産業廃棄物。廃プラスチック類)

---

### 16. その他の情報

食品衛生試験 : 食品衛生法・食品添加物の規格基準(昭和 34 年厚生省告示 370 号)及びポリエチレンを主成分とする合成樹脂の器具又は容器包装(平成 18 年厚生労働省告示第 201 号)

---

※ 本物質安全データシートの作成にあたり、文献及び資料等のなかった項目については省略します。

※ この情報は新しい知見に基づき改訂されることがあります。

※ ここに記載された情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての物質、化学品には未知の有害性がありうる為、取扱いには細心の注意が必要です。